
事業計画書
収支予算書

令和2年度

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

公益財団法人 発達科学研究教育センター

令和2年度事業計画

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I. 公益目的事業

幼少年期の子どもの発達に関する研究に対する助成及びそれに関連する事業。

1. 研究助成事業

- ・人間の発達に関する基礎的研究に従事する若手研究者を対象とした研究助成を行う。
- ・研究助成額は一件あたり50万円を限度とし、年間予算総枠は500万円とする。
- ・助成対象は40歳以下、准教授以下、グループ研究の場合には全員がこの要件を満たすことを必要とする。
- ・今年度助成の募集テーマは、「幼少期の子どもの可能性を引き出し、心身の調和のとれた発達をはかる」ことを主目的とする研究であることとする。

2. 成果発信事業

①研究助成成果の発信

- ・紀要の発行

研究助成の成果として最終報告及び中間報告などを掲載した「紀要」Vol.34を編集、刊行する。

- ・ポスターセッションの実施

令和元年度受賞者の最終報告を、書面による「紀要」掲載と併せ、口頭によりポスターセッションで発表する。

②ホームページ

- ・財団活動全般の情報公開と広報活動を行う。

③国際交流事業

- ・日本発達心理学会と「国際ワークショップ」講演会を共催する。

II. 収益事業

乳幼児発達検査の普及販売事業。

1. 発達検査販売事業

- ・乳幼児発達スケール(KIDS)、随意運動発達検査の販売及び普及活動を行う。
- ・KIDSの現状について調査を継続する。

以上

収 支 予 算 書

令和2年年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	(13,955,688)
基本財産運用収入	13,955,688
②事業収益	(9,500,000)
発達検査販売収益	9,500,000
③雑収益	(120)
雑収益	120
経常収益計	23,455,808
(2) 経常費用	
①事業費	(19,484,790)
研究助成費	5,000,000
情報収集費	12,000
会議費	450,000
旅費交通費	1,016,880
印刷製本費	3,589,463
通信運搬費	920,000
支払手数料	45,000
広告宣伝費	207,000
諸謝金	377,959
国際交流開催費	110,000
業務委託費	660,000
給料手当	5,950,000
賃借料	1,126,488
雑費	20,000
②管理費	(6,385,921)
給料手当	1,050,000
福利厚生費	420,000
役員報酬	590,261
会議費	850,000
旅費交通費	198,900
通信運搬費	195,000
維持費	80,168
業務委託費	1,750,000
支払手数料	300,000
印刷製本費	165,000
賃借料	198,792
減価償却費	0
租税公課	197,800
雑費	390,000
経常費用計	25,870,711
当期経常増減額	△ 2,414,903
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	-
(2) 経常外費用	
経常外費用計	-
当期経常外増減額	-
当期一般正味財産増減額	△ 2,414,903
II 指定正味財産増減の部	
基本財産評価益	-
当期指定正味財産増減額	-

資金調達及び設備投資の見込みについて

令和2年年4月1日から令和3年3月31日まで

1. 資金調達の見込みについて

当年度における借入れの予定 なし

2. 設備投資の見込みについて

当年度における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定 なし